

まちづくり あいかわ

〜歴史的資源を活用した地域活性化の活動報告〜

— 60号 —

発行所 佐渡市相川支所
〒952-1592
佐渡市相川栄町27番地
TEL 0259 (74) 3111 (代)
FAX 0259 (74) 2551

金継 活動報告「まちづくりは神社から」

― 神社エールと、次につながる取り組み ―

金継では、「まちづくりは神社から！」をテーマに、歴史ある相川の神社を、これからも地域の中で大切にしていくための企画「神社エール」をスタートしました。相川には、古くから信仰と暮らしが結びついた神社が多く残っています。一方で、行事の担い手不足や高齢化など、これから先の継承について課題を抱える神社も少なくありません。神社エールは、神社を「守る対象」としてではなく、住民が自然と足を運び、関わる場所として身近に感じてもらうことを目的とした、住民参加型の神社応援企画です。最初の開催場所を選んだのは、相川まつりでも知られる善知鳥神社。祭りの時期だけでなく、それ以外の時期にも神社に足を運ぶきっかけをつくりたい、そんな思いからスタートしました。

大晦日・善知鳥神社「ふるまい酒」開催報告

神社エールの第一歩として、大晦日の夜、善知鳥神社の参集殿にて熱燗・甘酒・ちゃんこ鍋のふるまい酒イベントを開催しました。当日は、相川の飲み屋街ではおなじみの方々に加え、SNSを見て相川以外から立ち寄ってくれた方や、帰省中の相川



「金継わらじ部」発足のお知らせ

この流れを受け、金継ではこの春から「金継わらじ部」を発足します。相川まつりで履かれてきたわらじは、地域の大切な文化のひとつですが、近年は作り手が減少し、わらじ作りの継続が難しくなりつつあります。金継わらじ部では、「限られた人が作る」のではなく、わらじを作る習慣を地域の中につくることを目指します。毎年部員を募集し、一期生が次の二期生へと教えることで、技術と想いが循環していく仕組みをつくっていきます。この企画は、京町の「よう喜多屋」さんのコラボ企画として、毎月、講師の方をお招きしながら進めていきます。

参加費は無料ですが、活動にあたっては神社への参拝を大切にしていただくことをお願いしています。わらじ作りを通して人がつながり、神社に足を運ぶ人が増え、相川の文化が無理のない形で受け継がれていく。そんな循環を目指して、取り組みを続けていきます。

「金継わらじ部」部員募集概要

▼活動開始…令和8年3月〜▼活動場所…善知鳥神社 参集殿
▼活動期間…3月〜10月全 8回(予定) ▼内容…縄作りから始め、わらじ作りを学びます▼講師…京町「よう喜多屋」さん
ご協力のもと、毎月講師が指導▼募集人数…10名(第1期生)
▼対象…経験不問(初心者歓迎)▼参加費…無料(活動前後に神社への参拝をお願いします)▼申込方法…2月末までに OKESA BAR BUNZO (木曜定休/18時〜25時)にて代表・岩崎まで
または、「金継ステーション」(北沢テラス1階)にて新保まで
お声がけください。
(金継 新保)

相川 冬のどごちそう祭

冬の新たな賑わいを創出するために、試験的な取り組みとして「相川 冬のどごちそう祭」を1月から開催しています。

佐渡國相川あきんど会に所属する飲食店が数店舗参加し、地元食材を生かした冬限定の「どごちそうメニュー」を提供しています。寒い季節に嬉しい温かい料理や、この時期ならではの味わいを楽しめるのも魅力です。観光で訪れた方はもちろん、地元の方々にもおすすすめの企画です。

3月15日まで開催していますので、ぜひこの機会に相川のまち歩きとあわせてお楽しみください。詳しくは、公式サイトでご確認ください。 (あきんど会 伊藤)



相川 冬のどごちそう祭

地域おこし協力隊伊藤幹太の相川商人図鑑 Part 7

「佐渡発酵株式会社」 営む覚悟が醸す酒

佐渡市関。佐渡の北端に位置するこの集落で、「発酵」を軸に酒造り続けているのが、佐渡発酵株式会社です。代表の浜田正敏さんは、関生まれ関育ちで、人生の大半を佐渡で過ごしてこられた方です。

佐渡発酵が登記されたのは、平成23年3月11日でした。事業の始まりは、時代の流れというよりも、人の強い想いに端を発しています。きっかけとなったのは、後に杜氏となる丸山さんが浜田さんのもとへ何度も足を運び、「甘酒を作りたい。」と熱心に語り続けたことでした。これに対し、浜田さんは「甘酒だけでは、当てるか外れるかになってしまふ。私はどぶろくが好きなので、どぶろくも作った方がいい。そうすれば、内野安打くらいにはなるかもしれない。」と答えます。これがきっかけとなり、関集落の人々が少しずつ集まり、「地域おこし」としてやってみよう! という空気が生まれていきました。酒のラベルは関の方が手がけ、ホームページは関に住む元プログラマーが制作するなど、立ち上げ当初は正に地域総出の取り組みでした。酒造りの中核を担ったのが、杜氏となった丸山さんです。丸山さんは、どぶろくそのものの開発には至らなかったものの、山廃仕込みによる甘酒「麴のおちち」と濁酒(だくしゅ)「寒元」「佐渡のどぶろく」を生み出しました。すりつぶす山おろしの工程を行わず、自然の力で乳酸発酵を進める山廃造り。その味わいは非常に濃厚で、発酵の力をダイレクトに感じられる一本



山廃仕込みの甘酒「麴のおちち」

せん。この姿勢の背景には、浜田さんご自身の食に対する考えがあります。明治維新以降、日本では食の洋風化が進み、体質に必ずしも合わない食生活が広がってきました。

一方で近年、海外では日本食の価値が改めて評価され、日本食を好む人々が増えています。「私たち日本人が当たり前すぎて気付かなかつた、米と麴、そして乳酸発酵こそが、日本食の原点だと考えています。」その思いが、佐渡発酵の酒造りの根底にあります。関の販売所での試飲を通じて、その考えは少しずつ伝わっていききました。観光客や地元の方々が足を運び、口コミやリピーターによって支えられています。派手な宣伝は行っていませんが、どこへ出店しても評判は良いそうです。一方で、課題もあります。製造は少人数で行われており、工場の維持には常に気を配らなければなりません。

そして何より、次の担い手を見つけないことが大きなテーマです。「この事業が一人で回る状態を抜け、誰かに委ねられるところまで持っていきたい。」それが浜田さんの考える成功です。「これが最後の自分の仕事だと思っす。」覚悟がなければ、酒は醸せません。浜田さんの目標は、新潟を代表する甘酒とどぶろくにする。誰が経営を担うことになっても、佐渡の特産品として残り続ける存在であるために、今日も関の地で、静かに、しかし確かに酒は仕込まれています。(地域おこし協力隊 伊藤)



佐渡発酵株式会社

▼営業日時 8時30分〜17時00分 不定期営業 (試飲+商品販売)

▼お問い合わせ 0259-78-2288 (代表直通)

▼会社HP QRコードをお読み取りください。



佐渡発酵株式会社

第22回 佐渡國相川ひなまつり 今年も、清水家ロビーで展示&内覧会開催

▼来月の6日(金)から「佐渡國相川ひなまつり」が開催されます。今回で実に22回目の開催。すっかり毎年の恒例行事となり、町中でたくさんのおひな様が、店内やおいえ(「おえ」や「おま」ともいう。)に飾られる姿は、春の訪れが感じられる行事となっています。昨年は、ホテル開業後の相川下町交流ロビー(清水家ロビー)においても、おひな様を飾らせていただきました。町内外は元より、たくさんの方から来られた方々にも訪れていただきました。

今回も、清水家ロビーでの展示を行います。昨年は、島内から来られた方で、おひな様をご覧になった後に、ご宿泊までして下さった方もおられました。



最新の情報は
トップページの
「お知らせ」を
ご覧ください。



相川下町交流ロビー
「ひなまつり」ののぼり旗が目印



おひな様は
おいえにお飾りしています

前回と同様に、ひなまつり期間中はホテル客室の内覧もできます。ご興味ある方は、ぜひお問合わせください。

【お問い合わせ】

相川下町交流ロビー (NIPPONIA佐渡相川金山町併設)
☎0501720-9976 (自動音声受付で、6番を押すとつながります。)

▼ひなまつり期間中は、おひな様の展示だけではなく、町中の10店舗の飲食店で相川ひなまつりだけの特別メニューの提供や、佐渡金銀山現地見学会(3月7日(土))、きらりうむ佐渡にキッチンカーなどが出店するひなまつりマルシェ(3月8日(日))、しんこづくり体験教室

(3月8日(日))、ひなまつり茶会(3月14日(土))と、盛りだくさんのイベントが開催予定となっております。とても楽しみですね。

詳しいイベント情報は、佐渡國相川ひなまつり公式サイトでご確認ください。
(相川車座 雨宮)



相川ひなまつり

「ちくちくの会」 活動進捗報告

活動開始から約2カ月が経過し、「ちくちくの会」へのお問合せや、趣旨にご賛同いただき足を運んでくださる方が、少しずつ増えてきています。

これまでの開催日の多くは週末の土曜日で、12月と1月は、寒波が来るなどの理由でお休みとなることもありましたが、開催できるときには、暖かい楽しい時間を共有できました。手を動かしながらお喋りしたり、あれこれ皆で悩んだりして、時間をかけて一つずつ乗り越えていく過程が、また楽しいひと時となってきています。

ご寄贈いただいたパッチワークの布は、清水家ロビーのこたつ布団として活躍しています。

春までのもう少しの期間、一期一会の出会いの中でお茶でも飲んでお喋りしながら縫物をしてみませんか。

◆参加ご希望の方はお電話ください。

☎0501720-9976

(自動音声受付で、6番を押すとつながります。)

(相川車座 雨宮)



協力隊 活動報告

「相川フライド100」進行中!

昨年11月から、地域おこし協力隊の企画として「相川フライド100」がスタートしました。相川の魅力を、ひとつずつ丁寧に記録していく相川まるごと図鑑のような取り組みです。食・観光・歴史・街並み・芸能・宿泊など、さまざまな切り口から相川を見つめ直し、「このまちの誇り」を言葉と写真で残していきます。

これまでに取材したのは、史跡佐渡金山、史跡佐渡奉行所跡、北沢窯、きらりうむ佐渡、相川小学校、北狄集落(生抜観音)の6か所です。

取材を重ねる中で感じているのは、相川には、観光地として知られる顔だけでなく、暮らしの中に根づいた誇りや物語が、まだまだ眠っているということ。外から来た協力隊だからこそ、魅力的に感じる相川の瞬間や場所が多々あります。相川フライド100は、基本はSNSを中心に発信していきますが、今後は「まちづくりあいかわ」の中でも特集記事として一部を紹介させていただきます。記事は、Instagramで発信しています。ぜひ、紙面のQRコードからご覧ください。

(地域おこし協力隊 新保)



春風を引き連れて

はなが甲子園大会本選出場13校決まる 初出場3校

このほど第26回全国高等学校版画選手権大会予選会を実施し、3月19日から22日にかけて佐渡市相川体育館を会場に開催する本選大会出場校13校を選抜しました。また、あわせて個人部門優秀作品10点を決定しました。

本選大会では、各チームの版画制作の様子が見学できます。皆さんのご声援をお願いします。(大会事務局 濱野)



▼本選大会出場校(出場回数)

- 青森県立黒石高校(初)
- 岩手県立杜陵高校(6)
- 埼玉県立鴻巣高校(4)
- 神奈川県立相模原中等教育学校(初)
- 静岡県立伊豆伊東高校(20)
- 福井県立高志高校(7)
- 福井県立武生高校(6)
- 京都精華学園高校(6)
- 大阪信愛学院高校(17)
- 大阪府立港南造形高校(9)
- 大阪府立金岡高校(初)
- 九州産業大付属九州高校(2)
- 新潟県立佐渡中等教育学校(14)

▼個人部門優秀作品

- 新潟日報社賞 九州薬大付属九州高校 矢野 栞(1年)
- NHK新潟放送局賞 大阪府立港南造形高校 阪 田 心(3年)
- BSN新潟放送賞 大阪府立港南造形高校 一宮 光来(2年)
- NST新潟総合テレビ賞 青森県立弘前実業高校 前田 和奏(1年)
- TENYテレビ新潟賞 神奈川県立相模原弥栄高校 鈴木 悠生(2年)
- UX新潟テレビ21賞 大阪信愛学院高校 系井 由奈(1年)
- サドテレビ賞 静岡県立伊豆伊東高校 佐藤 輪花奈(1年)
- サドテレビ賞 千葉黎明高校 椎名 姫七(1年)
- ベストライフ賞 京都精華学園高校 弓削 碧月(2年)
- ベストライフ賞 千葉黎明高校 荒井 友梨杏(1年)



新潟日報社賞受賞作品 矢野栞さん(題名「出航」)

【お詫び】今回は紙面の都合により「あいかわ道草話」をお休みします。